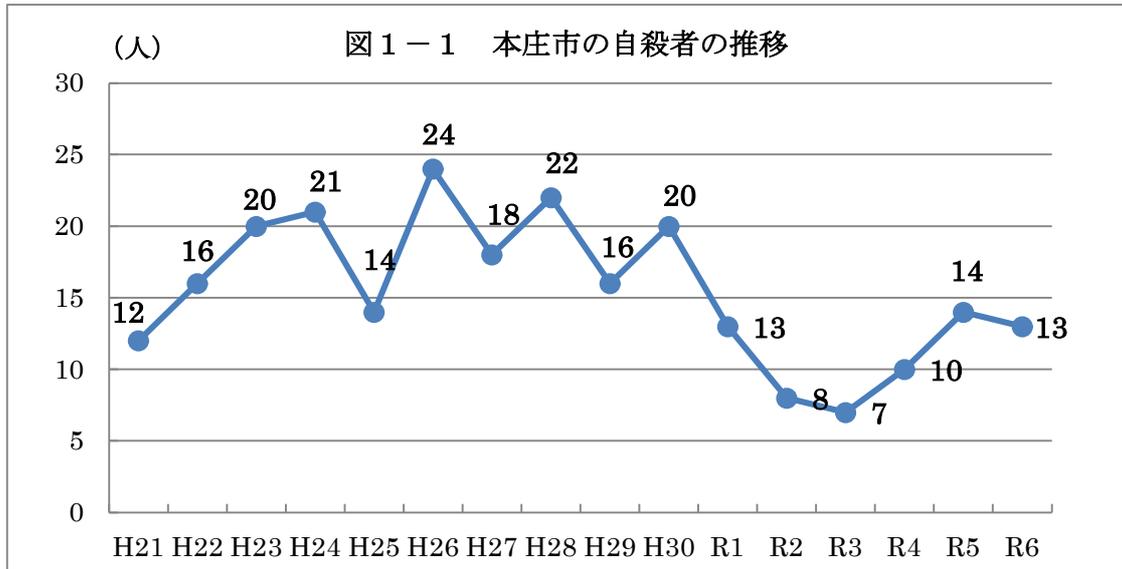


統計から見る本庄市における現状

①自殺者の推移

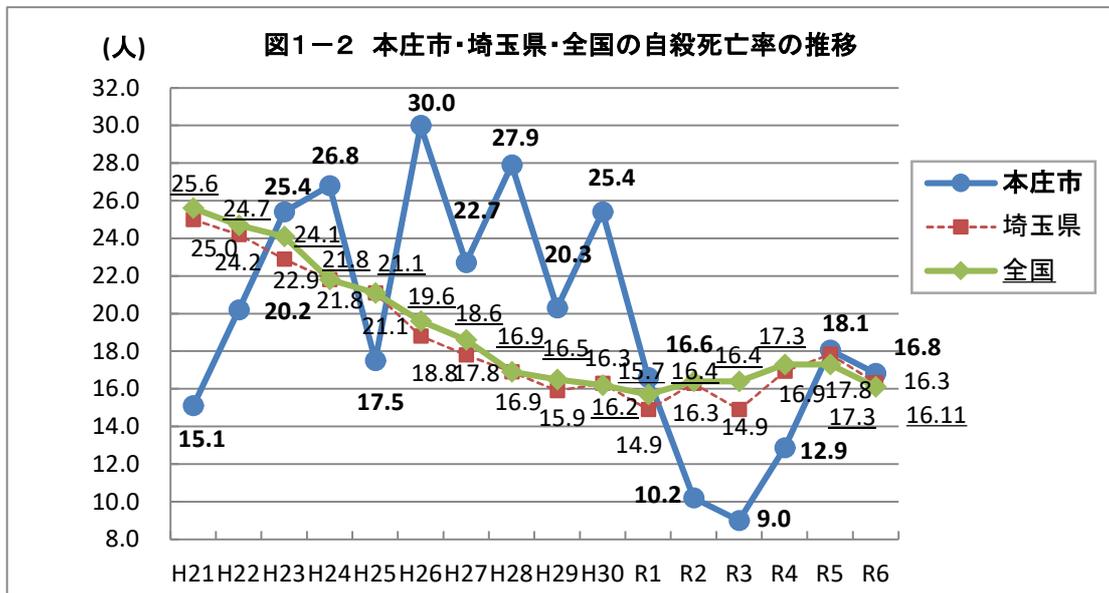
本市の自殺者数は、平成 21 年から平成 24 年までは増加傾向にあり、その後は増加と減少を繰り返し、平成 30 年以降は減少していましたが、令和 3 年からは増加傾向にあります。平成 21 年から令和 6 年の平均は、15.5 人となっています。



資料：地域における自殺の基礎資料（厚生労働省自殺対策推進室）

②自殺死亡率の推移

自殺死亡率とは、人口 10 万人あたりの自殺死亡者数のことです。本市の自殺死亡率は、平成 26 年にピークとなっており、令和元年までは埼玉県・全国の値を上回る数値で増加と減少を繰り返していました。令和 2 年～4 年は、埼玉県・全国の値を下回りましたが、令和 5 年以降、再び埼玉県・全国の値を上回っています。



資料：地域における自殺の基礎資料（厚生労働省自殺対策推進室）

### ③性別・年齢階級別の自殺者数

埼玉県の令和6年の男性の自殺者数は女性の約2倍となっています（図1-3）。

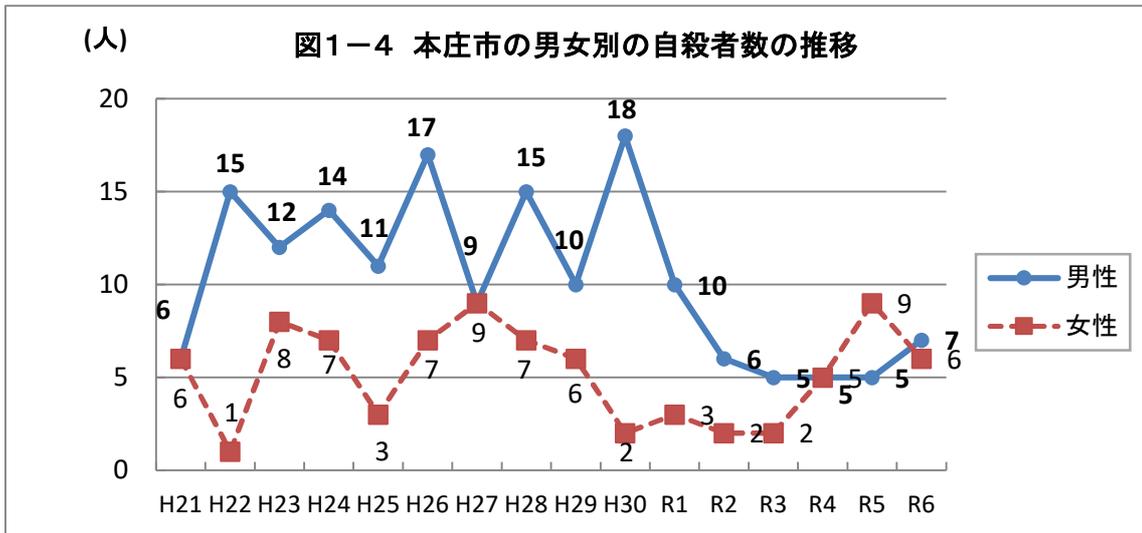
本市における自殺者数は、令和5年を除き、男性が女性と同数または上回っています（図1-4）。

性・年代別の自殺死亡率（図1-5）をみると、本市において、男性は50代、女性は20代が最も高くなっています。男性20歳未満、女性20代、30代、40代、50代は、全国と比べて高い傾向にあります。

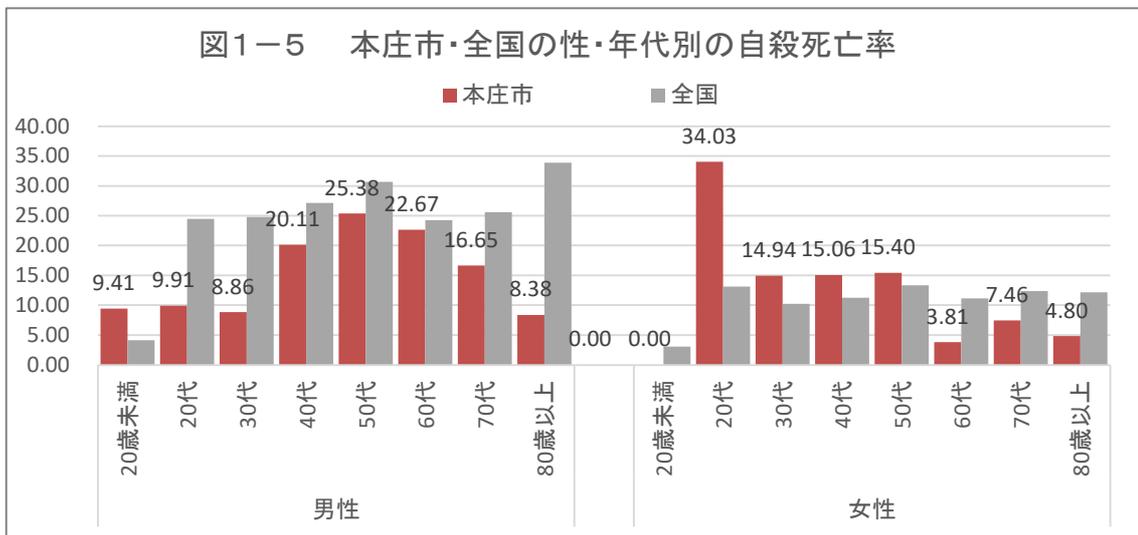
図1-3 令和6年 本庄市・埼玉県の男女別の自殺者数状況

R6	本庄市		埼玉県	
	自殺者数	自殺死亡率	自殺者数	自殺死亡率
合計	13	16.82	1,205	16.33
男性	7	18.11	786	21.36
女性	6	15.53	419	11.33

資料：地域における自殺の基礎資料（厚生労働省自殺対策推進室）



資料：地域における自殺の基礎資料（厚生労働省自殺対策推進室）

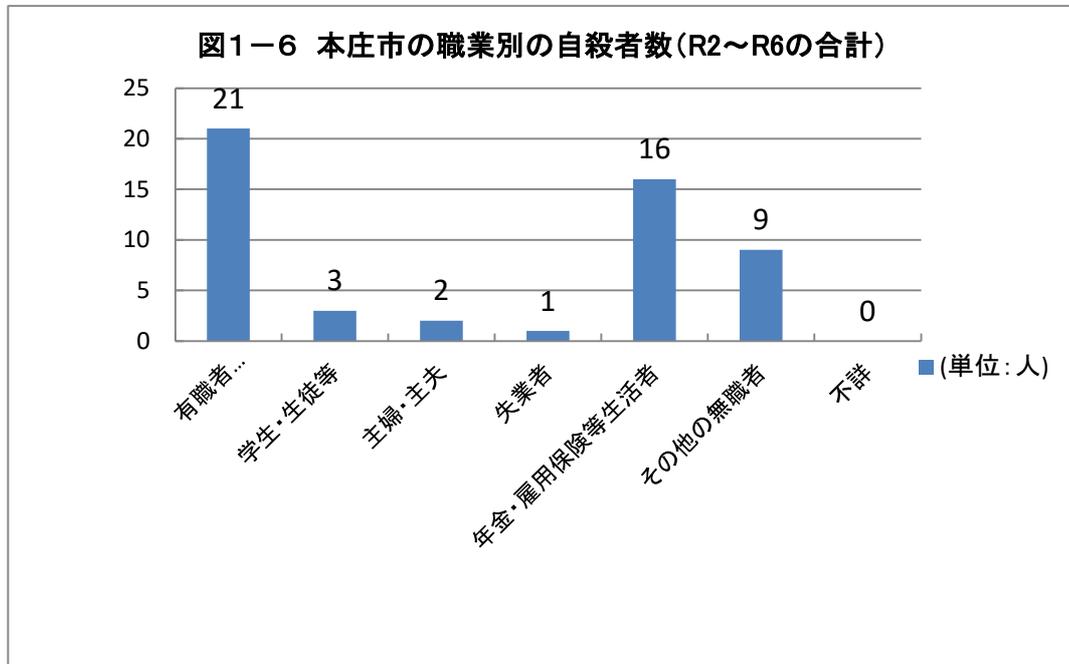


資料：地域自殺実態プロフィール

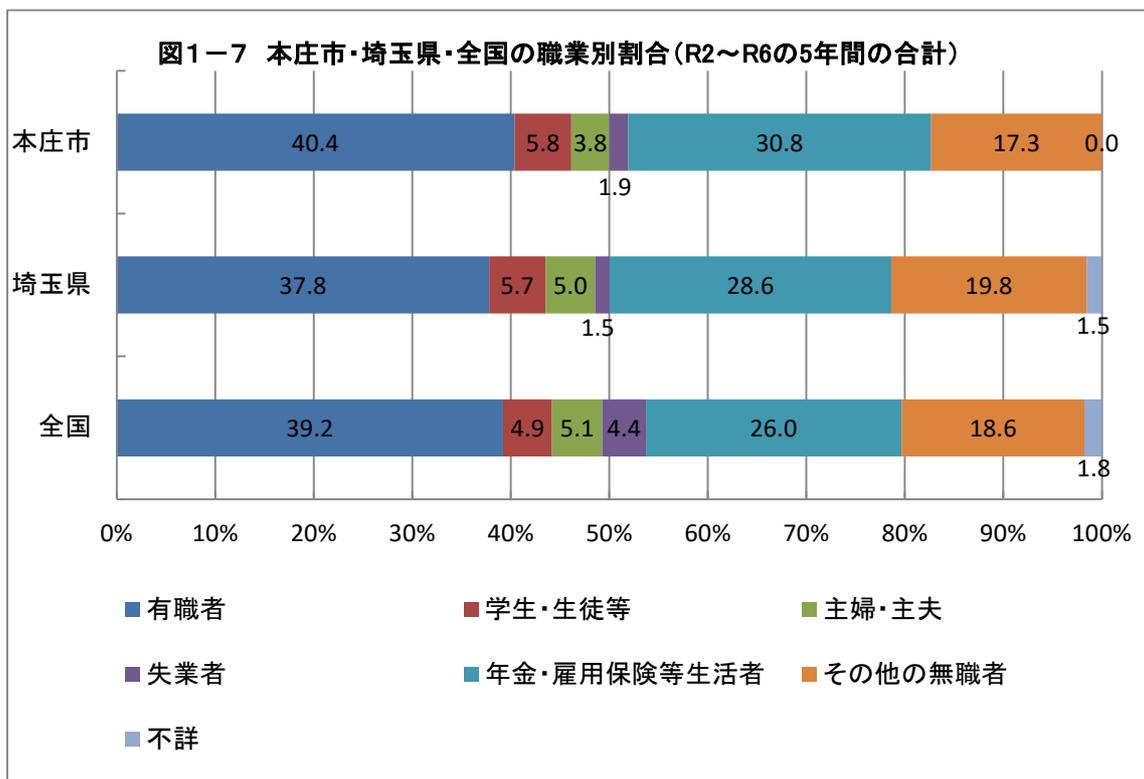
#### ④職業別の自殺者数の推移

本市の職業別の自殺者数をみると、「有職者」が21人、「年金・雇用保険等生活者」が16人、「その他の無職者」が9人となっています（図1-6）。

また、本市と埼玉県、全国の職業別の自殺者数の割合を比較すると、本市では、「有職者」、「年金・雇用保険等生活者」の割合が高くなっています（図1-7）。



資料：地域における自殺の基礎資料（厚生労働省自殺対策推進室）

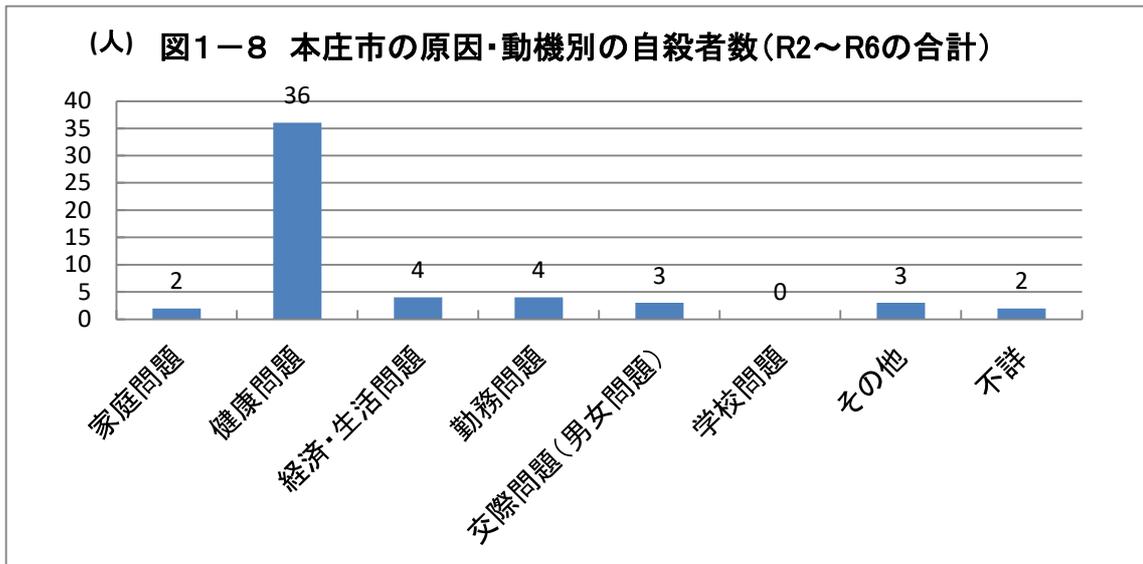


資料：地域における自殺の基礎資料（厚生労働省自殺対策推進室）

### ⑤原因・動機別の自殺者数

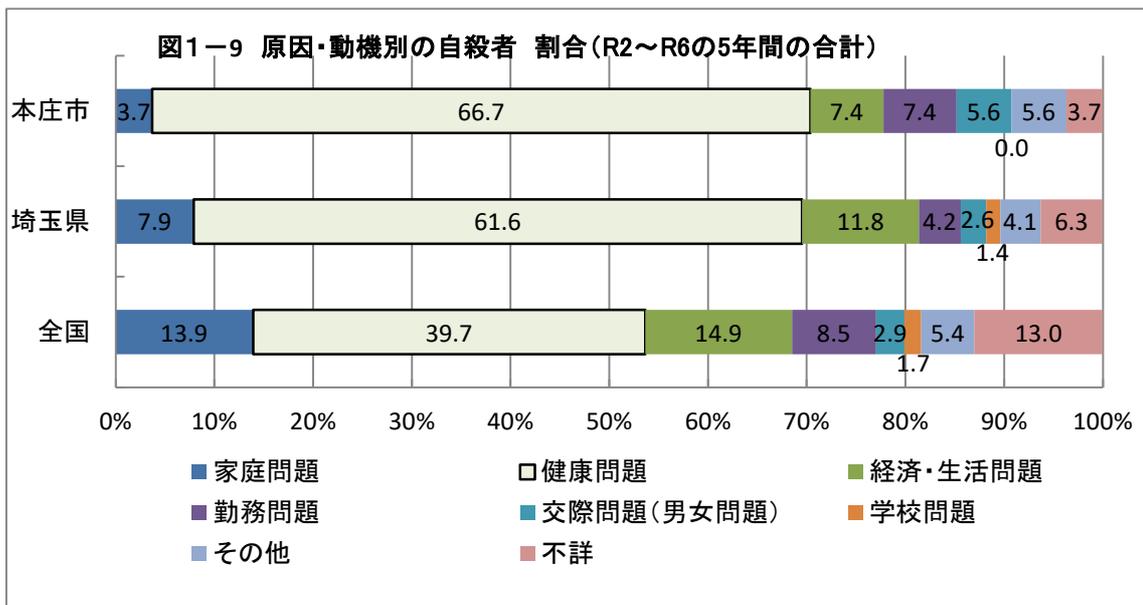
原因・動機別の自殺者数をみると、「健康問題」が36人で最も多くなっています（図1-8）。

また、本市と埼玉県、全国の原因・動機別の割合を比較すると、本市では、「健康問題」、「交際問題(男女問題)」、「その他」の割合が高くなっています。「勤務問題」は、全国の割合よりも低いですが、埼玉県の割合に比べ高くなっています（図1-9）。



資料：地域における自殺の基礎資料（厚生労働省自殺対策推進室）

※原因・動機を複数抱えている場合があるため、合計が実際の自殺者数より多くなっています。



資料：地域における自殺の基礎資料（厚生労働省自殺対策推進室）